

## 2019年度アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)助成プログラム 交付対象者および交付対象事業が決定しました

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団は、文化芸術創造都市・横浜の推進に取り組んでいます。横浜市文化観光局創造都市推進課と協働して進めるアーツコミッション・ヨコハマ事業において、2つの助成制度の交付を行います。これにより、横浜から新たな人材が育ち、また先駆的な活動が生まれることで、横浜の魅力が世界へ発信されることを目指します。

この度、2019年度の交付対象者および交付対象事業を決定しましたので、お知らせします。

### 次世代を担う若手芸術家を横浜で育成・発信

#### 「若手芸術家支援助成 クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ」

このプログラムは、横浜市が文化芸術創造都市の一層の推進を図るべく展開しているクリエイティブ・チルドレンの理念に基づくものです。横浜から世界に文化芸術を発信する次世代のアーティストを育成し、そのキャリアアップを支援するための助成です。

1 交付対象者	7名(うち継続3名/申請数51名)
2 交付総額	4,850,000円

### 創造性を生かした社会包摂の活動を支援

#### 「クリエイティブ・インクルージョン活動助成」

共生社会の実現に向けて、アーティスト、クリエイターによる創造性を活かした社会包摂を試みる多様なプロジェクト(活動)を支援し、そのことが横浜の新たな魅力となり、世界へ発信されていくことを目指すものです。

1 交付対象事業	4件(うち継続2件/申請数26件)
2 交付総額	3,650,000円

※アーツコミッション・ヨコハマ(ACY)は、(公財)横浜市芸術文化振興財団が横浜市文化観光局の補助金を受けて運営する事業です。(横浜市中区山下町2産業貿易センタービル1F <http://acy.yafjp.org/>)

**※ぜひ当助成プログラムの取材、情報掲載をお願い申し上げます。**

裏面あり

お問い合わせ先 \*本日は、17:00まで在席しております。

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 広報・ACYグループ tel. 045-221-0212  
グループ長 伊東亜紀子  
担当:園田泰士(インクルージョン) / 里見有祐(フェローシップ)

【2019年度 若手芸術家支援助成 クリエイティブ・チルドレン・フェローシップ:交付対象者】(50音順)

氏名	神里 雄大 (カミサト ユウダイ)(継続)	交付金額	800,000 円
プロフィール	作家、舞台演出家。1982年ペルー生まれ。世界各地を訪ね歩き、出会った人々から聞いた話を元に作品を構成するという執筆スタイルを採用している。2006年「しっぽをつかまれた欲望」(作:パブロ=ピカソ)で利賀演出家コンクール最優秀演出家賞受賞。2018年「バルパライソの長い坂をくだる話」で第62回岸田国土戯曲賞受賞。ヨーロッパやオーストラリアなど海外公演多数。世界各地で戯曲が上演されている。2016年～2017年まで文化庁新進芸術家海外研修制度研修員としてアルゼンチン・ブエノスアイレスに滞在した。		
氏名	玄 宇民(ゲン ウミン)(継続)	交付金額	800,000 円
プロフィール	アーティスト。東京生まれ。生まれた地を離れた人々のありようと移動の記憶、マイグレーションをテーマに映像作品を制作。近作は戦前の日本に暮らした韓国人女性飛行士の足取りを俳優と共にたどる『未完の旅路への旅』(2017)、香港の離島、韓国の済州島を舞台にした『逃島記(とうとうき)』(2019～)など。2016年以降ソウル独立映画祭(韓国)、Taiwan International Video Art Exhibition(台湾)、ディアスポラ映画祭(韓国)で作品上映。東京大学文学部美学芸術学専修卒業。東京藝術大学大学院映像研究科メディア映像専攻博士後期課程修了。		
氏名	高山 玲子(タカヤマ レイコ)(新規)	交付金額	400,000 円
プロフィール	美術家・俳優・体メンテナンス体操講師。京都府出身。俳優として数多くの舞台、映像、パフォーマンス作品に出演する。また同時に映像作品、各種メディアを用いたパフォーマンス作品の制作を行う。近年では、境界線(演者/観客/あなた/わたし/あの世/この世)に注視し、これらの見えないラインを、可視化・表象することで起こりうる認識のズレなど、“人の数だけ答えが違うことをみんなで見られること”を主軸とした制作活動を行なう。		
氏名	額田 大志(ヌカタ マサシ)(新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	作曲家・演出家。1992年東京都出身。東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科卒業。2013年に8人組バンド・東京塩麴を結成。ブレイクビーツとミニマルミュージックを軸としたサウンドで、これまでに2枚のアルバムをリリース。2018年にFUJI ROCK FESTIVALへ出演。また2016年に演劇カンパニー・ストミックを結成。スコアのように書かれた上演台本や、音楽的とも評されるセルフ回しを特徴とする。クリエイションの根幹で音楽と演劇を接続し、新たな観客/作品を生み出すことを目標に活動を行っている。		
氏名	布施 琳太郎(フセ リンタロウ)(継続)	交付金額	850,000 円
プロフィール	美術家。1994年生まれ。2017年東京藝術大学美術学部絵画科(油画専攻)卒業。現在は同大学院 後期博士課程 映像研究科(映像メディア学)に在籍。壁画/絵画とインスタレーションの制作をはじめとして、同世代の制作者を広く集めて編纂する展覧会企画や批評などの活動を行っている。主な展覧会企画に「iphone mural(iPhoneの洞窟壁画)」(2016)、「新しい孤独」(2017)、「ソラリスの酒場」(2018)、「孤独の地図」(2018)など。他、参加グループ展多数。「第16回美術手帖芸術評論募集」に「新しい孤独」で入選。		
氏名	本間 メイ(ホンマ メイ)(新規)	交付金額	800,000 円
プロフィール	アーティスト。1985年東京都生まれ。2011年チェルシー芸術大学大学院ファインアーツ科修了。Back and Forth Collectiveメンバー。インドネシアと日本の歴史的関係のリサーチを基点に、社会・政治的な問題や多国間における関係性を考察する映像作品やインスタレーションを発表。近年は見過ごされがちな女性に関する歴史を主に扱う。主なグループ展に2018年「つぎはぎの“言葉”」(字ことば kata eweawea) トーキョーアーツアンドスペース本郷、TERATOTERA 祭り2018など。		
氏名	山形 一生(ヤマガタ イッセイ)(新規)	交付金額	400,000 円
プロフィール	美術家。東京藝術大学大学院美術研究科絵画修了。インターネット以降における美術、および画像流通とその政治性についてを主題に制作と研究を行う。それらに関連した論考として「水色のぷにぷに - ポストインターネットアート」(Massage, 2019-)、「キャラクターの同一化と引き剥がし」(Vindr vol.6, 2018)など。また、主な展示として「MASAMUNE」website, 2018、「Surfin」情報非公開, 2017など。主な受賞として2018年に「映像作家100 - NEWAWARDS」にて大賞、2016年「21th Campus genius award」にて谷口暁彦評価員賞など。		

【2019 年度 クリエイティブ・インクルージョン活動助成:交付対象事業】（事業名 50 音順）

事業名	アート・クリエイティブによる病院内 コミュニケーション増進プロジェクト(新規)	交付金額	1,100,000 円
主催	アートマネジメントオフィス アホイ！（代表:塚田信郎）		
事業内容	アートマネジメントを行う塚田氏が、横浜市内の病院で、入院中の子ども達やその家族などを対象に、アーティスト・クリエイターと協働しアートプログラムを実施する。その体験を通して病院内外のコミュニケーションを活性化させ、病院をより過ごしやすい空間に変え、人々を明るく元気にするプロジェクトを行う。		

事業名	寿町で子どもたちと山車まつりをしたいっ（新規）	交付金額	1,250,000 円
主催	竹本 真紀		
事業内容	美術家の竹本氏が、寿町で子どもや地域の人々と一緒に新たな祭りをつくるアートプロジェクト。保育所、学童や近隣の小学校の子どもたちと山車をつくるワークショップを行い、寿町内やその周辺の地域で活動する団体との関わりも生み出す。準備から成果発表までが一つの連続したアートプロジェクト。		

事業名	修復のモニュメント(仮)(継続)	交付金額	800,000 円
主催	渡辺 篤		
事業内容	現代美術家の渡辺氏が“開かれた対話”、“再構築と修復”の概念を取り込んだ対面型制作を行う。ひきこもり当事者・経験者と共に創作し展示する。社会から孤立した人と接続し、その存在をなきものにならない表現活動を行う事で、これまで社会に対して閉じられ語られてこなかった当事者の視点を「声なき声」として社会に発信していく。		

事業名	広がれ！メッセンジャー事業（継続）	交付金額	500,000 円
主催	あしおとでつながろう！プロジェクト（申請代表:おどる なつこ）		
事業内容	横浜市内で、障がいの有無に関わらず、子どもから大人まで参加できるダンスプログラムを行っている団体。過去活動に参加してきた人が、障がいの有無に関わらずダンスの楽しさを伝える「メッセンジャー」として全国を旅する。他地域にダンスプログラムを広げていくとともに、旅での経験を横浜に持ち帰り伝えることで、新たな地域間のネットワークを構築するプロジェクトを行う。		